

(原疾患：胆管癌2例，十二指腸乳頭部癌，膵癌，肝内胆石症，総胆管結石症，肝外傷，胃癌の各1例)を経験し，その主要動脈は，右肝動脈3，胃十二指腸動脈2，左肝動脈，総肝動脈，上腸間膜動脈各1例であった。

今回は，肝門部胆道手術後に発生した2例を報告した。症例1は30才男性。肝内部胆管狭窄型肝内結石症に対し，肝門部胆管切除，肝門空腸吻合術を施行した術後，右肝動脈と吻合部瘻を生じ大量吐血した。症例2は73才女性。胆管癌に対し総胆管切除・総肝管十二指腸吻合術後に発生した右肝動脈吻合部瘻である。2症例とも手術的に止血救命し得，社会復帰した。尚，8例全例，腹腔内出血及び縫合不全を認めず消化管出血した。

#### 8) 胆道癌手術症例の検討

一特に肝門部浸潤例について一

富山 武美・高野 征雄  
工藤 進英・三浦 宏二 (秋田赤十字病院)  
近藤 公男・小山 論 (外科)

1981年1月から1989年8月までの8年8カ月間に秋田赤十字病院で手術を行なった胆道癌は39例あり5年生存率は15.8%であった。切除率は79.5%であった。治癒切除施行群の5生率41%であった。

肝門部胆管癌3例，肝門部コランジオーマ1例および肝門部浸潤胆嚢癌5例を肝門部胆道癌として検討した。肝門部胆管癌では治療切除の症例はなく，肝門部浸潤胆嚢癌では全例切除し得たが，治癒切除は1例のみであった。肝門部コランジオーマの1例は拡大肝左葉切除兼尾状葉切除にて治癒切除可能であった。

肝門部胆道癌の治癒切除例2例は2年以上の生存を得たが，非治癒切除例は全例1年1ヶ月以内に死亡した。非治癒切除の原因はhw+あるいはew+であった。

肝切除を加えることで切除率の向上が期待されるがew+hw+症例に対する治療が必要となる。門脈合併切除等の広範囲な切除や，放射線治療等の集学的治療が今後の課題である。

#### 9) 膵臓に原発した腺扁平上皮癌の1例

長谷川昭一・坂井洋一朗 (新潟勤医協下越)  
羽賀 正人・山川 良一 (病院内科)  
畠山 真・会田 博  
斉藤 俊一・時光 昭二 ( " 外科)  
樋口 正身 ( " 病理)

膵臓に原発した腺扁平上皮癌の一切除例を報告した。症例は65才男性。主訴は皮膚蚤痒感。血液所見で肝障害，高ビリルビン血症，CA19-9 高値を認め，エコー，CT

では腫瘤像が見られた。またERPで主膵管に不整な狭窄を認め，胆嚢外瘻からの造影では総胆管に締め付け型の狭窄像がみられた。血管造影上，胃十二指腸動脈に不整な狭窄を認めた。以上より膵頭領域癌と診断し，膵頭十二指腸及び結腸合併切除術が施行された。腫瘍は扁平上皮癌が大部分で，ごく一部に腺癌が見られ両組織が混在する領域も存在した。組織発生については，腺癌の扁平上皮化生説と矛盾しない所見と思われた。一群リンパ節に転移を認め，転移巣には両組織が存在した。

#### 10) 画像上充実性腫瘤像を呈した膵嚢胞腺癌の1例

尾崎 俊彦・真船 善朗 (済生会新潟総合)  
本間 明 (病院内科)  
相場 哲明・川口 正樹 ( " 外科)  
阿部 実 (新潟大学第三内科)  
野田 裕・渡辺 英伸 ( " 第一病理)

膵嚢胞性腫瘍は一般に画像所見と病理所見が対応し，存在診断は比較的容易であるが，我々は診断に苦慮した膵嚢胞腺癌の一例を経験したので報告する。

症例は81才，女性。平成元年6月，某医で甲状腺機能亢進症の治療中，黄疸と肝腫大指摘され，同時に腹部エコーにて左上腹部腫瘍を認められ紹介入院となった。入院時腹部は平坦で腫瘍は触知しなかったが，US，CT，超音波内視鏡では5×5cm径の充実性腫瘍で石灰化は認めず，胃透視では体部後壁より胃外性圧排像を認めた。ERCPは膵管挿入できず，血管造影でも正常であった。膵癌を考え，膵体尾部切除術が施行されたが，病理組織学的には膵嚢胞腺癌であった。主膵管と嚢胞の交通がみられたが，嚢胞内には出血，壊死を伴った腫瘍が充満し，嚢胞腔が極めて狭い間隙としてしか存在せず，US，CT上圧排発育性の充実性腫瘍として描出されたものと考えられた。

#### 11) 60歳女性に発症した膵 solid and cystic tumor の1例

村山 裕一・清水 春夫 (村上病院 外科)  
渡部 重則 ( " 内科)  
小山俊太郎・佐藤 好信  
加藤 知邦・吉田 奎介 (新潟大学第一外科)  
佐藤 正弘 ( " 第一病理)

膵のsolid and cystic tumorは近年注目されてきたまれな疾患である。われわれは胆石症に合併した本症を経験したので報告する。症例は60歳女性で昭和59年近医にて膵嚢胞の診断を受けたが放置，本年4月5日右上腹部痛を訴え来院，眼球結膜に黄染と心窩部に圧痛を認め

た。血液検査でビリルビンの高値と肝機能異常を認めたが血清アミラーゼは正常であった。腹部超音波検査、CT検査、ERCP、血管造影にて膵尾部の石灰化をともなった膵腫瘍および胆嚢総胆管結石症と診断し、脾合併膵尾部切除術を行なった。腫瘍は石灰化をともなった線維組織で覆われ、嚢胞部分と壊死組織をともなった充実性部分を認めた。病理所見では充実性部分は出血壊死組織とそこに腫瘍細胞を認めた。腫瘍細胞は好酸性の胞体と卵円形の核を有し異型性は認めず、PAS 染色陽性、 $\alpha_1$ -antitrypsin 陽性、電顕にてチモーゲン様顆粒を認め膵の solid and cystic tumor と診断した。術後7ヶ月の現在、経過は良好である。

12) 膵全摘後の膵内分泌および成長ホルモン分泌動態について

吉岡 一典・小山 真  
阿部 僚一・榊原 清 (県立吉田病院外科)

膵全摘術による内因性膵ホルモン分泌の欠如が成長ホルモン分泌に与える影響について検討した。対象は膵癌2例、乳頭部癌1例(いずれも胃全摘、胆摘、脾摘併施)。方法はブドウ糖経口負荷試験とアルギニン経静脈負荷試験。血糖、insulin c-peptide, human growth hormon glucagon を測定し、以下の結論を得た。

- 膵全摘例では、ブドウ糖負荷試験で重症の糖尿病状態を呈し、insulin は低反応、glucagon は増加反応を示した。
- アルギニン負荷試験では、insulin、C-peptide、glucagon はいずれも無反応であった。
- 膵全摘術による膵内分泌機能の欠落が成長ホルモン分泌反応に抑制的に作用したと考えられた。

13) 胆道系内分泌細胞癌の2症例

綿貫 啓・谷口棟一郎  
家里 裕・竹吉 泉 (小千谷総合病院)  
川野 賢一・横森 忠紘 (外科)  
五十嵐俊彦 ( " 病理)  
江村 巖 (新潟大学病理部)

症例1: 乳頭部腫瘍のため、閉塞性黄疸をきたした症例で、膵頭十二指腸切除術を施行した。高分化管状腺癌と扁平上皮癌の合併あり、Grimelins stain (+), somatostatin stain (+) で内分泌細胞癌と診断された。

症例2: 胆嚢頸部の腫瘍で、電顕にて endocrine granules が認められ診断された。

2例とも1年以内に肝転移をきたした。内分泌細胞癌は、発育進展の早い極めて悪性の高い

癌で、リンパ管、血管への侵襲が強く早期にリンパ節転移や肝転移をきたし易い予後不良の疾患である。

14) 胆嚢の腺扁平上皮癌4例の検討

筒井 光広・加藤 清  
佐々木寿英・佐野 宗明 (新潟県立がんセン)  
梨本 篤・赤井 貞彦 (ター新潟病院外科)  
丹羽 正之 ( " 内科)  
黒崎 功 (新潟大学第一外科)

1974年から1988年までの15年間に当科で経験した胆嚢癌切除例は52例であり、このうち腺扁平上皮癌は3例(5.8%)、扁平上皮癌は1例(1.9%)であった。これら4例は何れも大きな腫瘍を形成した Stage III 以上の進行癌であった。腺扁平上皮癌のうち高分化型の1例は肝床切除と横行結腸合併切除を行い4年間生存中である。他の2例は中分化型と低分化型で、中分化型の1例は肝床切除による治癒切除が行われたが術後肝転移により死亡した。低分化型の1例は非治癒切除で術後早期に死亡している。扁平上皮癌の1例は高分化型癌であり、肝床切除が行われた。1年2ヶ月後にリンパ節再発を来したが再手術が行われ、15年後の現在生存中である。

扁平上皮癌や腺扁平上皮癌は周囲浸潤が強く予後不良と言われていたが遠隔転移は少ないと思われることから、とりわけ高分化型では積極的な切除により良好な予後が期待できる症例があると考えられた。

15) 胆嚢癌の形質発現

片山 麻子・渡辺 英伸  
古田 耕・佐藤 正弘  
阿部 実 (新潟大学第一病理)

[目的] 隆起型と表面型胆嚢癌を構成する癌細胞の性質を組織化学的に検討した。[対象] I型隆起を有する原発性早期胆嚢癌8例から得られたI型部分8領域とII a, II b型部分の6領域を用いた。[方法] 代表切片を用いてCA19-9染色、HID-AB染色、Calactose oxidase Schiff (GOS)染色、Concanavalin A Paradoxical (CPS)染色、Grimelius (GM)染色を行い、非腫瘍性胆嚢上皮細胞の分類に準じて固有上皮型細胞、表面上皮粘液化生細胞、腺窩上皮型細胞、幽門腺型細胞、杯細胞型細胞、内分泌細胞型細胞に分類した。[結果] 1. 全例に化生型細胞がみられた。2. I型領域はII a, II b型領域に比べて表面上皮粘液化生細胞と腺窩上皮型細胞の出現頻度が高かった。3. 化生型細胞は、種類ごとに出現部位に特徴がみられた。